

# 第90期 報告書

2019年4月1日~2020年3月31日

## 【 経営理念 】

私たちは、お客様にとって価値のある商品とサービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

私たちは、情報を重視し、世界の変化にすばやく適応するため、技術・知識・行動の革新に挑戦し続けます。

私たちは、利益ある発展と、創造性豊かでいきいきとした企業風土の確立を目指します。

### 当社の経営方針について

当社はステンレス鋼線並びに金属繊維（ナスロン）を主力製品とし、長年に亘り培ってきた技術力と新しい技術分野への挑戦により、お客様にとって価値ある商品とサービスの提供を通じて社会の発展に貢献することを経営の基本理念といたしております。

また、株主の皆様並びにお取引先など、内外の関係先からの信頼と期待に応えるため、常に世の中の変化に迅速に対応できる柔軟な経営体制の構築を通じて、安定した収益基盤の維持・拡大を図るべく事業活動を展開してまいります。

## 株主の皆様へ

---

日本精線は、ステンレス鋼線のトップメーカーとして、次世代素材、技術開発をリードし続けています。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第90期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

2020年6月



代表取締役社長

新貝 元

当連結会計年度における当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）の経営環境は、米中貿易摩擦による中国・欧州経済の減速や中東の地政学的リスクのほか、国内での台風被害や消費税増税が響き、先行き不透明感が強い状況となりました。当社グループの主力製品であるステンレス鋼線を巡る環境につきましては、顧客の需要減や在庫調整により販売数量は前年度から減少傾向にあり、さらに下半期に入って自動車関連の需要が減速しました。中国や韓国のステンレス鋼線メーカーとの競争も激化し、業界全体の出荷数量は前期比減となりました。また、LMEニッケル価格が、インドネシアの禁輸措置などによりポンド当たり8ドル超に価格高騰する局面もありましたが、期末にかけては世界経済の不透明感の拡がりとともに、当期末は5ドル台前半まで値を下げました。金属繊維（ナスロン）についても、化合繊維向けなどの一般汎用製品については競争が激しくなってきました。一方、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター製品については、前年度からの在庫調整の影響が上半期は残りましたが、年度後半からは第5世代移動通信システム（5G）向けなどの半導体生産が回復基調に転じました。

このような状況の中、当社グループでは、連結経常利益55億円、連結売上高経常利益率（ROS）10%以上、連結総資産経常利益率（ROA）10%以上などを経営目標とする「第14次中期計画

（NSR20）」（最終年度2021年3月期）の達成に向け、収益の一段の向上に鋭意取り組んでまいりました。

売上高につきましては、ステンレス鋼線部門は、自動車生産・販売の減少、建築需要の低迷などにより、月平均の販売数量が3,256トンと大幅に減少（前期比200トン/月減）しました。金属繊維部門では、超精密ガスフィルター（ナスクリン）が、年度後半より在庫調整から急反転して売上を伸ばしましたが、上半期の減収を補うには至りませんでした。その結果、当期の売上高は、349億10百万円（前期比9.9%減）と前期比減収を余儀なくされました。

損益につきましては、コスト削減活動の徹底と高機能・独自製品の売上強化により採算改善などに努めましたが、営業利益19億26百万円（同45.8%減）、経常利益19億99百万円（同45.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は13億95百万円（同47.1%減）となりました。

なお、当期（2020年3月期）におきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が当社グループの業績に与える影響は、いまだ軽微に留まっています。

事業部門別の経営成績は次のとおりです。

## ステンレス鋼線部門

前年度に高水準の受注・出荷の実績を上げた極細線の売上高が、反動の在庫調整を強いられました。また、建築用途・自動車用途の鋳螺用材が大幅減少し、ばね用材も流通での在庫調整の影響を受けました。需給面に加えて、安価な中国・韓国材の攻勢が加わり、ステンレス鋼線部門の売上高は293億78百万円(前期比8.8%減)となりました。

## 金属繊維(ナスロン)部門

ナスロンフィルターは、ポリエステルフィルム用途向け補充品が底堅く推移したものの、競争環境の厳しい化合繊維用途向け製品の減収を補うに至りませんでした。超精密ガスフィルター(ナスクリーン)については、スマホ需要の減少により半導体関連投資が凍結され上半期は大幅減収を余儀なくされましたが、年度後半には需給環境が好転したことに伴い設備投資も再開されました。これらの結果、金属繊維部門の売上高は55億31百万円(前期比15.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高又は振替高の相殺除去前の金額を記載しています。

### ■日本

ステンレス鋼線部門及び金属繊維部門とも需要低迷の影響で販売数量が減少し、売上高は320億9百万円(前期比11.2%減)、セグメント利益は17億3百万円(同47.8%減)となりました。

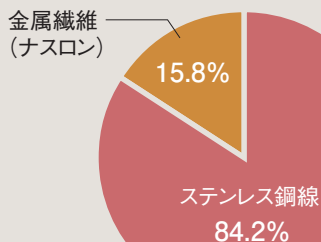
### ■タイ

ステンレス鋼線の販売数量は減少し、売上高は40億87百万円(同10.4%減)、セグメント利益は1億70百万円(同37.2%減)となりました。

### ■中国・韓国

中国国内向けの販売が好調に推移したことに加え、非連結子会社を連結の範囲に加えたことなどにより、売上高は11億1百万円(同88.8%増)、セグメント利益は1億19百万円(同72.9%増)となりました。

■ 部門別売上構成比(連結)



## 営業の概況

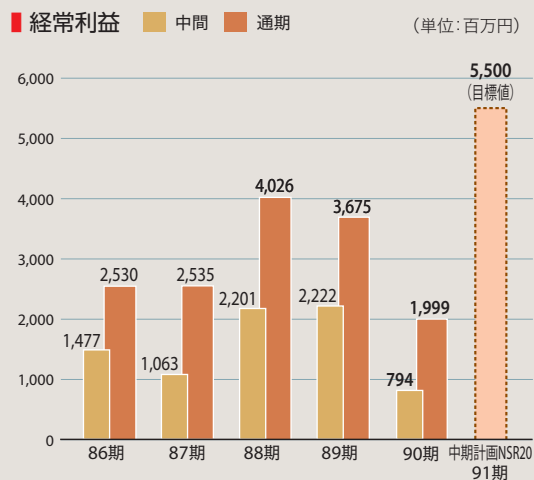
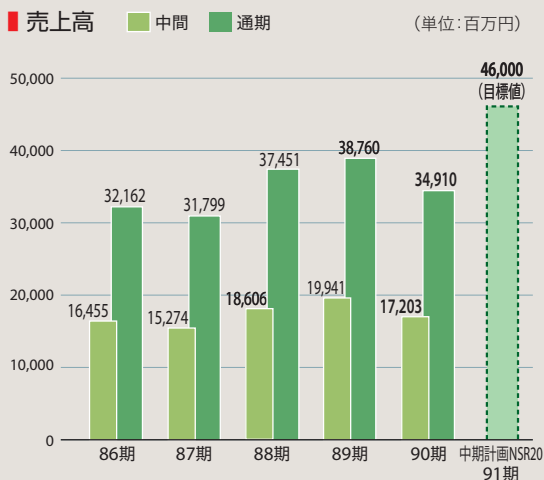
今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な拡大による経済活動の停滞により、極めて不透明な状況となっています。

また、当社グループの主力製品であるステンレス鋼線は、中国や韓国のステンレス鋼線メーカーとの競争激化による収益低下などの懸念があり、加えてニッケル価格に起因する原材料価格の変動リスクなど厳しい環境下に置かれております。さらに、金属繊維（ナスロン）も化合繊維向けなどの一般汎用製品については競争が激しくなってきました。

このような経営環境に対応すべく、当社グループは「第14次中期計画（NSR20）」を推進するとともに、コスト削減活動の徹底と高機能・独自製品の売上強化等に全力を注ぎ、経営目標の達成に向け、引き続き課題に取り組んでまいります。

具体的には、ステンレス鋼線部門において、販売面では国内外市場に対し、ばね用材や極細線をはじめとする高機能製品、自動車向け耐熱ボルト用材や高合金線などの独自製品の拡販に加え、新用途製品の立ち上げを推進してまいります。一方、生産面では需要家のグローバル展開に対応した海外2工場の競争力強化や、東大阪・

### 業績の推移（連結）



※当連結会計年度より、連結決算の開示内容の充実及びグループ経営の強化を図るため、前連結会計年度において非連結子会社であった大同不銹鋼（大連）有限公司、韓国ナスロン株式会社及び日精テクノ株式会社を連結の範囲に含めております。

枚方工場リニューアルの推進等により、引き続き国内外の最適生産体制の構築を進めてまいります。開発面では当社グループの保有する技術力・ノウハウに大同特殊鋼グループの技術力を結集することによる新製品開発の強化や新規事業の確立などに引き続き取り組んでまいります。

金属繊維部門では、中国・韓国の現地法人の活用等による海外市場への拡販、また、国内でもより高機能化・高精度化する需要に応えるべく技術開発を継続してまいります。

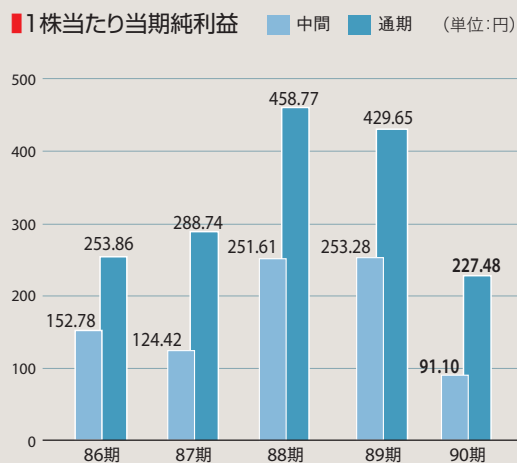
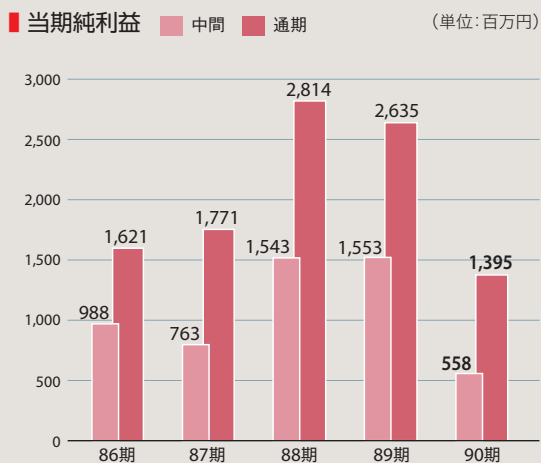
さらには、環境・医療・エネルギー関連など幅広い分野での新製品開発などにも鋭意取り

組んでまいります。

当面、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響を注視し、製造部門の安定稼働、フレキシブルな生産対応に万全を期してまいります。

以上により、収益の一段の向上を図るとともに、事業のグローバル化推進や高度化・多様化する顧客ニーズへの対応などにより、『さらなる企業価値の向上』を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



※当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第86期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。



# 連結決算

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

科目	期別	当期末	前期末
		(2020年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>		<b>27,029</b>	<b>26,247</b>
現金及び預金		11,980	11,338
受取手形及び売掛金		7,769	7,968
商品及び製品		2,090	2,274
仕掛品		3,328	3,099
原材料及び貯蔵品		1,709	1,441
その他		151	125
<b>固定資産</b>		<b>16,285</b>	<b>15,979</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>13,986</b>	<b>13,178</b>
建物及び構築物		4,649	4,595
機械装置及び運搬具		5,857	6,004
土地		1,628	1,595
リース資産		9	12
建設仮勘定		1,290	404
その他		551	566
<b>無形固定資産</b>		<b>319</b>	<b>362</b>
ソフトウェア		229	315
ソフトウェア仮勘定		50	—
その他		39	47
<b>投資その他の資産</b>		<b>1,979</b>	<b>2,438</b>
投資有価証券		245	468
関係会社出資金		—	192
繰延税金資産		1,505	1,541
その他		228	236
<b>資産合計</b>		<b>43,315</b>	<b>42,227</b>

科目	期別	当期末	前期末
		(2020年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>		<b>7,033</b>	<b>7,370</b>
支払手形及び買掛金		4,972	4,651
短期借入金		437	563
リース債務		2	2
未払法人税等		64	492
未払消費税等		224	16
賞与引当金		549	663
役員賞与引当金		23	29
その他		759	950
<b>固定負債</b>		<b>4,835</b>	<b>4,388</b>
長期借入金		372	—
リース債務		7	10
役員退職慰労引当金		47	44
環境対策引当金		1	—
退職給付に係る負債		4,394	4,321
その他		12	12
<b>負債合計</b>		<b>11,868</b>	<b>11,759</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>		<b>31,170</b>	<b>30,259</b>
資本金		5,000	5,000
資本剰余金		5,442	5,442
利益剰余金		21,575	20,663
自己株式		△ 847	△ 847
<b>その他の包括利益累計額</b>		<b>△ 111</b>	<b>△ 49</b>
その他有価証券評価差額金		△ 33	27
繰延ヘッジ損益		0	△ 0
為替換算調整勘定		115	169
退職給付に係る調整累計額		△ 193	△ 245
<b>非支配株主持分</b>		<b>387</b>	<b>257</b>
<b>純資産合計</b>		<b>31,446</b>	<b>30,467</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>43,315</b>	<b>42,227</b>



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
売上高		34,910	38,760
売上原価		29,691	31,848
売上総利益		5,218	6,912
販売費及び一般管理費		3,291	3,357
営業利益		1,926	3,554
営業外収益		132	198
営業外費用		59	77
経常利益		1,999	3,675
特別利益		0	28
特別損失		—	38
税金等調整前当期純利益		2,000	3,665
法人税、住民税及び事業税		537	1,080
法人税等調整額		35	△ 78
当期純利益		1,427	2,663
非支配株主に帰属する当期純利益		31	27
親会社株主に帰属する当期純利益		1,395	2,635

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,814	2,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,244	△ 3,121
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 335	△ 1,118
現金及び現金同等物に係る換算差額		8	82
現金及び現金同等物の増減額		243	△ 1,779
現金及び現金同等物期首残高		11,233	13,013
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		289	—
現金及び現金同等物期末残高		11,766	11,233

## 連結株主資本等変動計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
2019年4月1日 期首残高	5,000	5,442	20,663	△ 847	30,259	27	△ 0	169	△ 245	△ 49	257	30,467
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△ 582		△ 582							△ 582
親会社株主に帰属する当期純利益			1,395		1,395							1,395
自己株式の取得				△ 0	△ 0							△ 0
連結範囲の変動			99		99							99
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						△ 60	0	△ 54	52	△ 62	130	68
連結会計年度中の変動額合計	-	-	911	△ 0	911	△ 60	0	△ 54	52	△ 62	130	979
2020年3月31日 期末残高	5,000	5,442	21,575	△ 847	31,170	△ 33	0	115	△ 193	△ 111	387	31,446

# 単体決算

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 貸借対照表

科目	期別	当期末	前期末
		(2020年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>		<b>23,124</b>	<b>23,312</b>
現金及び預金		9,866	9,863
受取手形		2,021	3,053
売掛金		5,236	4,451
商品及び製品		1,809	2,062
仕掛品		3,056	2,821
原材料及び貯蔵品		903	819
前払費用		64	60
その他		165	180
<b>固定資産</b>		<b>16,155</b>	<b>15,640</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>12,316</b>	<b>11,663</b>
建物		3,701	3,706
構築物		380	379
機械及び装置		5,026	5,263
車両運搬具		28	15
工具、器具及び備品		446	462
土地		1,450	1,450
リース資産		9	12
建設仮勘定		1,273	372
<b>無形固定資産</b>		<b>319</b>	<b>362</b>
電話加入権等		39	47
ソフトウェア		229	314
ソフトウェア仮勘定		50	—
<b>投資その他の資産</b>		<b>3,520</b>	<b>3,615</b>
投資有価証券		245	328
関係会社株式		1,274	1,274
関係会社出資金		416	416
従業員長期貸付金		1	0
長期前払費用		21	33
繰延税金資産		1,381	1,383
その他		180	179
<b>資産合計</b>		<b>39,280</b>	<b>38,953</b>

科目	期別	当期末	前期末
		(2020年3月31日現在)	(2019年3月31日現在)
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>		<b>6,184</b>	<b>6,856</b>
支払手形		25	40
買掛金		4,507	4,493
1年内返済予定の長期借入金		178	290
リース債務		2	2
未払金		322	445
未払費用		264	340
未払法人税等		43	444
未払消費税等		218	16
前受金		17	32
預り金		40	61
賞与引当金		540	660
役員賞与引当金		23	29
その他		—	0
<b>固定負債</b>		<b>4,449</b>	<b>3,951</b>
長期借入金		372	—
リース債務		7	10
退職給付引当金		4,008	3,884
役員退職慰労引当金		47	44
環境対策引当金		1	—
その他		12	12
<b>負債合計</b>		<b>10,633</b>	<b>10,807</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>		<b>28,679</b>	<b>28,118</b>
資本金		5,000	5,000
資本剰余金		5,446	5,446
資本準備金		5,446	5,446
利益剰余金		19,081	18,519
利益準備金		359	359
その他利益剰余金			
圧縮記帳積立金		48	51
別途積立金		5,000	5,000
繰越利益剰余金		13,673	13,108
自己株式		△ 847	△ 847
<b>評価・換算差額等</b>		<b>△ 32</b>	<b>26</b>
その他有価証券評価差額金		△ 33	27
繰延ヘッジ損益		0	△ 0
<b>純資産合計</b>		<b>28,646</b>	<b>28,145</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>39,280</b>	<b>38,953</b>

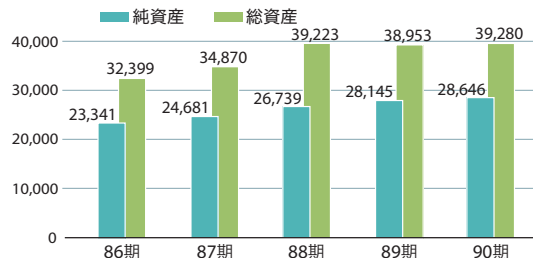
## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		(2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
売上高		32,009	36,043
売上原価		27,504	29,825
売上総利益		4,505	6,217
販売費及び一般管理費		2,860	2,996
営業利益		1,644	3,221
営業外収益		54	91
営業外費用		42	55
経常利益		1,656	3,257
特別利益		0	28
特別損失		—	38
税引前当期純利益		1,656	3,247
法人税、住民税及び事業税		486	1,000
法人税等調整額		25	△ 47
当期純利益		1,144	2,294

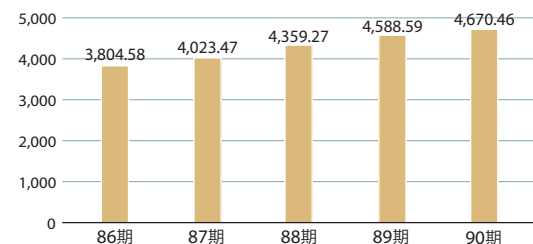
## ■ 総資産・純資産

(単位:百万円)



## ■ 1株当たり純資産

(単位:円)



※当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。第86期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

## 株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計	
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計						
				圧縮記帳 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金							
2019年4月1日 期首残高	5,000	5,446	359	51	5,000	13,108	18,519	△ 847	28,118	27	△ 0	26	28,145
事業年度中の変動額													
圧縮記帳積立金の取崩				△ 3		3	—		—				—
剰余金の配当						△ 582	△ 582		△ 582				△ 582
当期純利益						1,144	1,144		1,144				1,144
自己株式の取得								△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										△ 60	0	△ 59	△ 59
事業年度中の変動額合計	—	—	—	△ 3	—	564	561	△ 0	560	△ 60	0	△ 59	501
2020年3月31日 期末残高	5,000	5,446	359	48	5,000	13,673	19,081	△ 847	28,679	△ 33	0	△ 32	28,646

# トピックス

## 株主様工場見学会の実施

昨年10月、当社として初めてとなる株主様向けの工場見学会を実施しました。

当日は台風19号通過の翌日で足元も悪いなか、約30名の株主様に枚方工場にご来場いただき、ステンレス鋼線や超精密ガスフィルターの製造ライン、展示室等を見学していただくことができました。

ご見学中・ご見学後には活発なご質問やご意見をいただき、見学会終了後のアンケートでは、ほとんどの方から「満足」の回答を頂戴しました。

本年は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止といたしましたが、株主様には今後も機会を設け、当社の事業内容を実際にご覧いただき、貴重なご意見をお伺いしたいと存じますので、引き続きよろしくごお願い申し上げます。



## 自動ソルト酸洗ライン竣工

自動車の燃費向上やCO<sub>2</sub>削減などの地球環境負荷軽減を背景として耐熱性・耐食性を有するステンレス鋼線の需要が高まっております。その主要製造工程であるソルト酸洗の自動ラインが2020年3月東大阪工場に完成しました。

当設備はステンレス鋼線の表面被膜処理のための酸洗処理を自動運転で最適に制御することにより、生産能力の増強を図るとともに、労働生産性向上や製造工程における環境負荷を大幅に軽減することができます。

今後も環境負荷軽減に配慮した製品の提供と製造プロセス確立に取り組み、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献してまいります。



## 会社概要

(2020年3月31日現在)

商号	日本精線株式会社 (英文名 NIPPON SEISEN CO., LTD.)
設立	1951年6月30日
資本金	50億円
従業員数	600名
ホームページアドレス	<a href="https://www.n-seisen.co.jp/">https://www.n-seisen.co.jp/</a>

## 当社グループの主な営業品目

ステンレス鋼線、ステンレス鋼直棒・異形線、高合金線、チタン線、金属繊維(ナスロン)及びその加工品、金属繊維焼結フィルター、半導体用超精密ガスフィルター、ダイヤモンドダイス、溶接棒、その他金属線

## 当社グループの主要な事業所

### ■当社

本社	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号(興銀ビル)
支店	大阪(大阪市中央区)・東京(東京都中央区)・名古屋(名古屋市中区)
工場	枚方(大阪府枚方市)・東大阪(大阪府東大阪市)

### ■連結対象子会社

会社名	出資比率	所在地
THAI SEISEN CO.,LTD.	95%	タイ国サムットプラカーン
耐素龍精密濾機(常熟)有限公司	80%	中国江蘇省常熟
大同不銹鋼(大連)有限公司	74%	中国遼寧省大連
韓国ナスロン株式会社	100%	韓国ソウル
日精テクノ株式会社	100%	大阪府枚方市

## 役員

(2020年6月26日現在)

### 取締役及び監査役

(\*印の取締役は執行役員を兼務しております)

代表取締役社長	新 貝 元
*取締役	秋 田 康 明
*取締役	高 橋 一 朗
取締役	花 井 健
取締役	滝 沢 正 明
取締役	温 品 昌 泰
取締役	渡 邊 剛
常勤監査役	中 川 幸 朋
常勤監査役	若 松 壮 一
監査役	笹 山 真 一
監査役	鈴 井 伸 夫

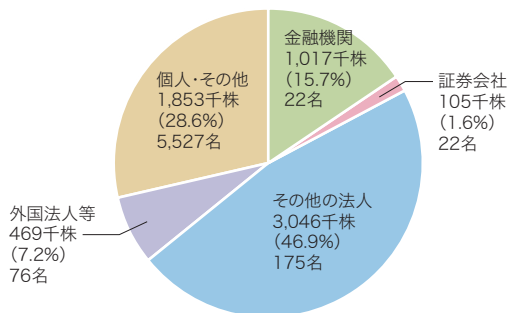
### 執行役員

常務執行役員	秋 田 康 明
常務執行役員	吉 田 厚
常務執行役員	加 藤 泰 資
常務執行役員	小 林 真
執行役員	津 田 俊 之
執行役員	高 橋 一 朗
執行役員	岩 城 泰 王
執行役員	越 智 隆 裕
執行役員	大 塚 雅 彦
執行役員	谷 口 政 広
執行役員	山 田 和 仁
執行役員	松 田 潤

# 会社の概況 (2020年3月31日現在)

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済株式の総数 6,492,293株
- 当期末株主数 5,822名
- 所有者別株式分布状況



## 大株主

株主名	持株数	持株比率
大同特殊鋼株式会社	2,620 <sup>千株</sup>	42.72%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	286	4.66
株式会社みずほ銀行	217	3.54
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	122	1.99
特殊発條興業株式会社	106	1.73
前尾和男	99	1.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	84	1.37
株式会社三菱UFJ銀行	67	1.10
BBH LUX/DAIWA SBI LUX FUNDS SICAV-DSBI JAPAN EQUITY SMALL CAP ABSOLUTE VALUE	67	1.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	65	1.06

(注) 1. 持株比率は自己株式(358千株)を控除して計算しております。  
2. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 株式に関するお手続きについて

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別口座では、単元未満株式の買取増以外の株式売買は出来ません。</li> <li>●株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急上記「電話お問い合わせ先」までご連絡ください。</li> </ul>

※未払配当金のお支払いについては、みずほ銀行本店及び全国各支店でもお取り扱いいたします。

## 株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要のあるときは、取締役会で決議し、 あらかじめ公告する一定の日
剰余金配当の基準日	期末 毎年3月31日 中間 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告掲載方法	日本経済新聞に掲載
証券コード	5659
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	●電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) ●インターネット <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>



**NIPPON SEISEN CO., LTD.**

---

